

< 講 評 >

提案に関し、環境行政の推進、適切な効果、手法の説得性・合理性、実現可能性、先駆性・新規性の観点から審査を行った結果、エコイスト大賞の優秀賞と奨励賞を以下のとおり選定し、これを表彰することといたしました。なお、大賞については、該当無しとなりました。

優秀賞

「自然と共生する日本のふるさと百選」

里地里山は、農林業等の様々な人間の働きかけを通じて豊かな環境が形成されてきた地域である。こうした里地里山に代表される自然との共生のあり方は、今後国際的にも発信していくべき重要な課題の一つである。

こうした点から「ふるさと百選」を選定することは、荒廃が進む里地里山の保全に向けた取組のきっかけとしての効果が高く、さらに実現可能性や社会的な注目度なども高いと考えられる。ただし、施策実施のきっかけにとどまっている提案である点が、課題である。

奨励賞

「環境史遺産100選」の選定・公表・活用

我が国がこれまで経験してきた環境問題に関する歴史・経験のうち、重要なものに光を当て、国内外に広く発信し伝えていくという施策の方向性については、今後の環境行政の推進に当たり一定の効果が期待される。

ただし、実現に当たっては、いわゆる「負の遺産」及び無形遺産等の扱いや選定方法等について、十分な検討が必要と考えられる。

カーボンオフセット市場の活性化による温暖化対策の推進

地球温暖化対策において、市場メカニズムを活用した排出量取引は、費用対効果の高いものとして国際的にも注目されており、その取組を推進する上でも、時宜にかなった着想の提案である。

ただし、我が国で実施するに当たっては、京都議定書目標達成計画の見直し状況や実現可能性などを十分に踏まえる必要がある。

優秀賞受賞提案については、環境省重点施策の中でその必要性等を更に検討し、政策への反映に努めることとする。